

令和8年度 京都市学校教育の重点

<京都市の目指す子ども像>

「伝統や文化に学び、次代と自らの未来を創造する子ども」

- ◆広い視野と豊かな感性をもち、よりよい人生や社会を創造できる
- ◆様々な学びを生かし、社会的・職業的自立を果たすことができる
- ◆多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となることができる

<全教職員で進める学校園づくり5つの柱>

「いのち」子どもの命を守り切る

「よりそい」多様な子どもを誰一人取り残さない教育を進める

「つとめ」教職員の職責を自覚し、研鑽することで、教育の質を高める

「ひろがり」カリキュラム・マネジメントの改善を躊躇せず、

社会に開かれた教育課程を実現する

学校を核とした地域づくり（スクール・コミュニティー）

「つながり」校種間連携・接続により子どもを支える

<令和8年度 重視する視点> ～「自ら学ぶ力」と「自ら律し、協働する力」～

- 主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高める
- 日々の授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化を図る
- 自他を大切にし、「公共の精神」に基づく態度を育む

令和8年度 稲荷教育



本校が目指す教育

～子ども理解に基づき、子どもが安心して考え、行動できる教育環境づくり～

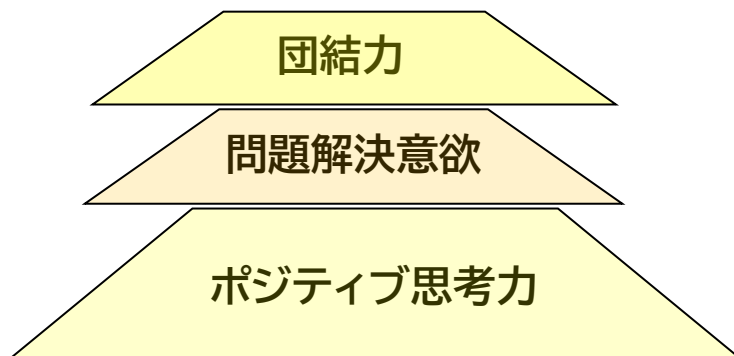
I 学校教育目標

いきいき なかよく
りそうの稲荷小学校を目指して考動する子

II めざす子ども像

- ① 「いきいき」 ○いきいき主体的に学習できる子
 - ② 「なかよく」 ○友だちと仲良く、命ときまりを守りきる子
 - ③ 「りそうの稲荷小学校を目指して」
○仲間と喜びを分かち合い、学校・地域を愛する子
- ◎「考動する」…「考えて行動する」(思考力・判断力・行動力)

III 子どもたちに育てたい力



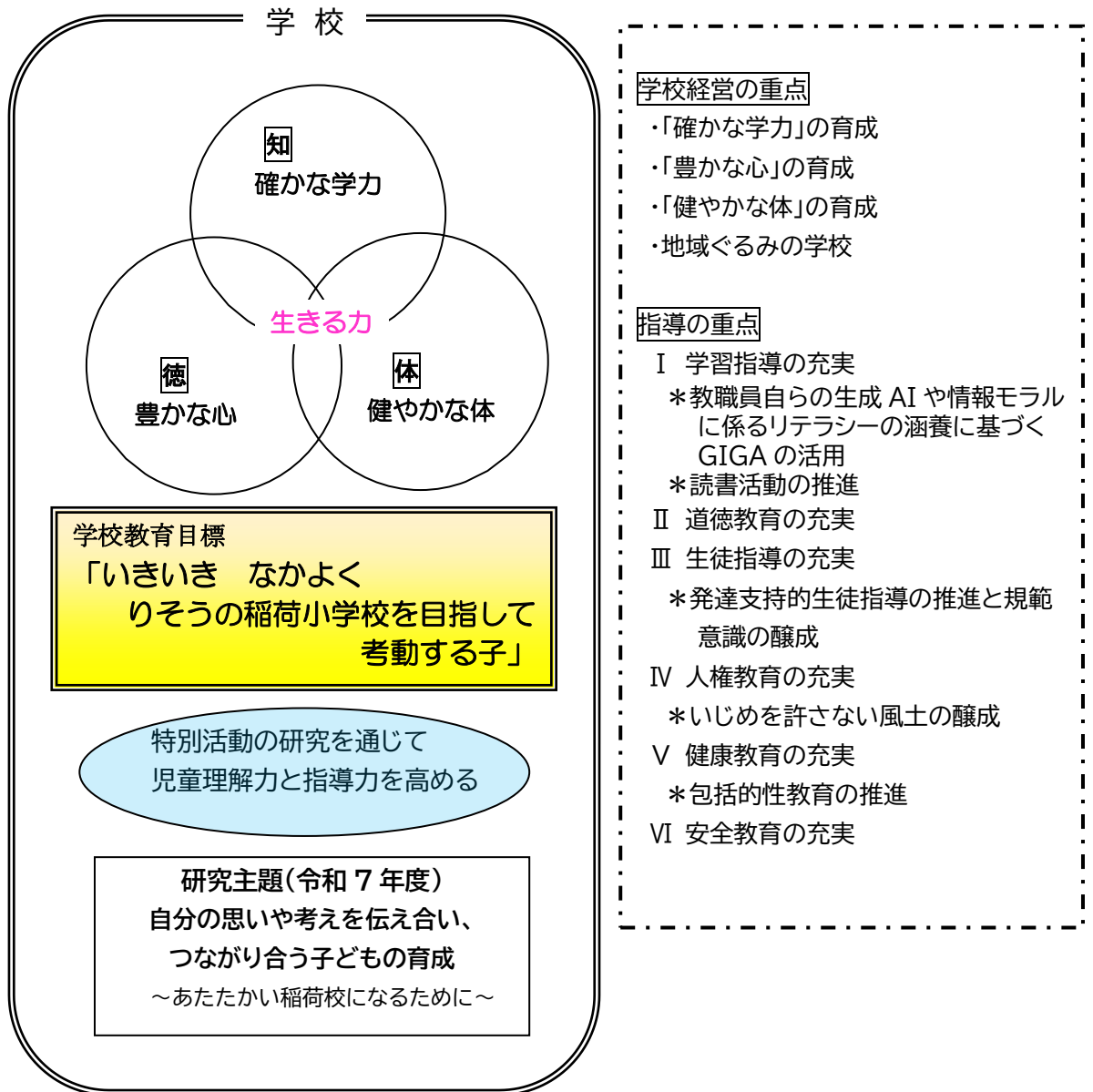
IV 大切にする視点

～子どもの人権を守れているかを一番の物差しにして～

- 主体的・対話的で深い学びを通して、子どもの学びの質を高める。
- 自他を大切にし、「公共の精神」に基づく態度を育む。
- 日々の授業と家庭学習との連携を通して、自学自習の習慣化を図る。
- 健康に関心をもち、進んで運動を楽しむ姿を目指す。

子どもが、安心して考動できる学校

Ⅲ 学校教育目標の具現化



スクール・コミュニティー

学校評価

学校 HP・学校便り

ボランティア

学校運営協議会

家 庭

- ・基本的な生活習慣
- ・家庭での自学自習
- ・PTA 活動の活性化

地域と共に
子どもを育てる

地 域

- ・諸団体との連携
- ・地域行事への参加
- ・学校行事への協力
- ・地域安全の向上
- ・保幼小中高大連携